

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 442 号	氏名	佐藤 剛
学位審査委員	主 査	由井 克之	
	副 査	北岡 隆	
	副 査	中尾 一彦	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、I 型糖尿病発症における C/EBP homologous protein (CHOP) を介した小胞体ストレス応答の関与を明らかにすることを目指したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 CHOP 遺伝子欠損マウスを I 型糖尿病モデル non-obese diabetic (NOD) マウスに戻し交配して CHOP 遺伝子欠損 NOD マウスを作製し、このマウスの糖尿病発症の病態を適切な方法で解析しており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、I 型糖尿病発症には CHOP 遺伝子を介する小胞体ストレス応答は必須ではないことを明らかにした。遺伝子欠損マウスを用いて I 型糖尿病発症機構に関して明確な結論を得た点、評価できる。</p>			
<p>以上のように本論文は I 型糖尿病発症機序の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			